

春から夏に咲くお花と実(6-7月)

夏から秋に咲くお花と実(8-9月)



No.1
ヒメシャクナゲ
湿原に咲く小さなシャクナゲの花です



No.2
タテヤマリンドウ
青紫色の花ですが、まれに白色やピンク色が咲きます



No.3
ミツバオウレン
星型の白い花に三つ葉の葉っぱが特徴です



No.4
ニッコウキスゲ
オレンジ色の花が数日ごとに咲きかわります



No.5
ワタスゲ(果穂)
ふわふわの綿毛の根元に種子がついています



No.14
サワラン
赤紫色の花はつぼんだ状態で咲いています



No.15
トキソウ
朱鷲が飛んでいるような姿の花です



No.16
シラネニンジン
小さな白い花が集まった花火のような花です



No.17
ミズギク
秋の湿原を代表する花です。鮮やかな黄色が目を引きます



No.6
イワカガミ
つやつやの鏡のような葉っぱが名前の由来です



No.7
アカモノ
薄桃色の花が下向きに咲き、秋には赤い実がなります



No.8
ウラシロヨウラク
赤紫色の鈴のような形の花です



No.9
ゴゼンタチバナ
6枚葉っぱがついている株にお花が咲きます



No.10
イワナシ
地面を這うように咲くピンク色の花です



No.18
イワショウブ
花の茎がねばねばしているのはアリなどをよせつけないためです



No.19
エゾリンドウ
秋の湿原を代表する青紫色の花です



No.20
キンコウカ
鮮やかな黄色で湿原をしきつめたように咲きます



No.21
モウセンゴケ
食虫植物でトンボなどがよく捕まっています



No.22
オオカメノキ(実)
赤い実がだんだん黒くなります(右下は冬芽)



No.23
ノリウツギ
純白のアジサイのような花が森の中で目立ちます



たしるやま
田代山 標高1971m
(三角点:1926m)

田代山は
プリンみてえな山だなあ

No.25 会津駒ヶ岳
弘法池ごしに雄大な姿が広がります



No.11 ベニサラサドウダン
湿原の中の低木で、真っ赤な鈴のようなお花が咲きます



犬ころがし
この下は
犬もころがる絶壁

天狗の庭
小天狗が
遊んでいたとい
う伝説

弘法大師堂
(避難小屋)

弘法池
むかし雨ごいの
儀式をしていた

小田代
頂上はもうすぐ

ネズコのワマ穴
穴の中がワマが
冬眠していた

トイレ
トイレをすませてから
登りましょう

湯ノ花へ

とくさ
木賊へ



No.26 燧ヶ岳(ひうちがたけ)
日本百名山で東北一高い山です



No.12 チングルマ
(花)

春には花、夏には綿毛
(果穂)がみごとです



No.24 チングルマ(果穂)

写真の凡例
□... 春から夏の花
□... 夏から秋の花
No.の色
青... 湿原の花
赤... 森の中の花

たいしやくせん
帝釈山
標高
2060m



No.13 オサバグサ
白い花が一面に咲きます

馬坂登山口
トイレ

ひえまたお
松枝岐村へ

田代山記念スタンプ

おもしろ発見マップ



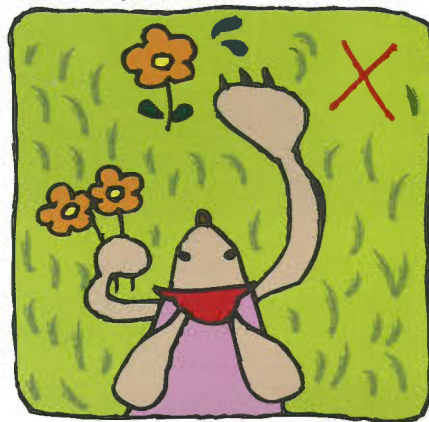
おもしろ発見マップは田代山の見どころがいっぱい！まずは裏面の山歩きのマナーを確認してから登りましょう。お花、景色、昆虫を探しながら、裏面のチェックリストに発見した日付を入れましょう。100点目指してがんばってください！
★スタンプは館岩観光センターに置いてあります。帰りによってくださいね。

田代山の山開きは6月の第2日曜日です

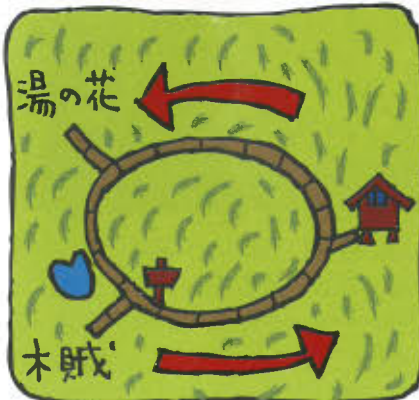
自然を守るためのマナー (守れたらチェックしましょう)



No.27
木道から降りたり、足を木道から出して座ってはいけません。湿原をいためてしまいます。



No.28
自然のものは自然のままにしましょう。植物をとったり、動物をつかまえるのはやめましょう。



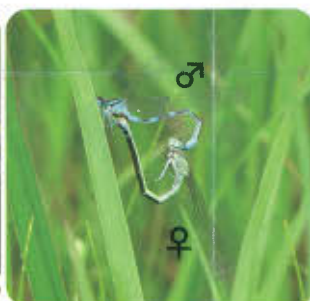
No.29
田代山の木道は反時計回りに一方通行で歩きましょう。



No.30
ストックを使うときは先にキャップをつけて登山道や木道の上につくようにしましょう。



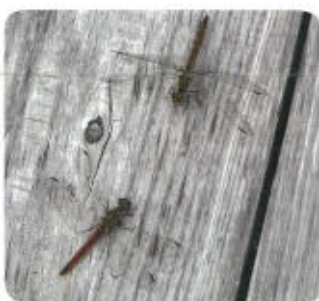
No.31
オオルリボシヤンマ
大型のヤンマの仲間です。写真はメスですが、オスはきれいな緑色をしています。



No.32
エゾイトトンボ
細長い糸のような体をしています。オスは黒い、メスは黒いしま模様が目立ちます。



No.33
カオジロトンボ
名前通り顔の白いトンボです。全体に黒っぽいですが、背中の中の色は赤色です。



No.34
アキアカネ
アカトンボの中でももっともポピュラーな種類です。夏から秋にたくさん見られます。

植物チェック											
No.	チェック日	点数	No.	チェック日	点数	No.	チェック日	点数	No.	チェック日	点数
1	/	2	8	/	2	14	/	2	21	/	2
2	/	2	9	/	2	15	/	2	22	/	2
3	/	2	10	/	2	16	/	2	23	/	2
4	/	2	11	/	2	17	/	2	24	/	2
5	/	2	12	/	2	18	/	2	計	点	22点
6	/	2	13	/	2	19	/	2	植物総得点		
7	/	2	計	点	26点	20	/	2	合計	点	48点

田代山の不思議

「田代(たしろ)」とは田んぼや湿原のことをいいます。ふつう湿原は水の集まる湿ったところに行きやすいのですが、田代山は山の上まで見わたす限りの湿原が広がっています。これは全国的にもめずらしい景観です。田代山の湿原は雪や雨による水分と、水はけの悪い地層によってもたらされたといわれています。田代山の湿原と森林を空から望むとまるでプリンのような形をしています。

田代山の弘法さま

田代山では昔からさまざまな神事がおこなわれてきました。江戸時代には山頂に田代神社がまつられ、雨乞いなどが行なわれてきました。1912年、真言宗の高僧と地元の神主と剛力(力持ちの男)で弘法大師の像を山頂にまつりました。その後弘法大師堂が建てられ、弘法さまと田代大明神は湿原とふもとの村を見守る位置に安置されました。今でも約100年前と変わらない姿で弘法さまが私たちを迎えてくれます。

田代山の天狗伝説

田代山の山頂湿原には、ハイマツやネズコなどの灌木(かんぼく:背の低い木)がとび島のように生えており、この一角に「天狗の庭」と呼ばれるところがあります。そのむかし、田代山南側の斜面にある鳥居岩と呼ばれる岩の横穴に小天狗が住んでいました。その小天狗はよくこの場所で遊んでおり、山に登ってきた村人を驚かせていたそうです。

山の風景チェック					
No.	チェック日	点数	No.	チェック日	点数
25	/	4	26	/	4
計 点 / 8点					

マナーチェック			昆虫チェック		
No.	チェック日	点数	No.	チェック日	点数
27	/	7	31	/	4
28	/	7	32	/	4
29	/	7	33	/	4
30	/	7	34	/	4
計 点 / 28点			計 点 / 16点		
総合得点 点 / 100点					
100点目指してまた田代山へ!!					

No.	お花	5月	6月	7月	8月	9月
1	ヒメシャクナゲ					
2	タテヤマリンドウ					
3	ミツバオウレン					
4	ニッコウキスゲ					
5	ワタスゲ		花	果穂		
6	イワカガミ					
7	アカモノ					
8	ウラジロヨウラク					
9	ゴゼンタチバナ					
10	イワナシ					
11	ベニサラサドウダン					
12	チングルマ(24:果穂)		花	果穂		
13	オサバグサ					
14	サワラン					
15	トクソウ					
16	シラネニンジン					
17	ミズギク					
18	イワショウブ					
19	エゾリンドウ					
20	キンコウカ					
21	モウセンゴケ					
22	オオカメノキ			花		実
23	ノリウツギ					



● 南会津町館岩総合支所 振興課 (TEL: 0241-78-3330)
★ 館岩観光センター (TEL: 0241-78-2546)
※スタンプが置いてあります

